



| | |
|--------------|---|
| Title | 人文学研究者必見！研究データ管理ことはじめ : OUKAで始めるIIIF画像の公開と利活用 |
| Author(s) | 吉賀, 夏子; 田畑, 智司; 甲斐, 尚人 他 |
| Citation | |
| Version Type | VoR |
| URL | https://hdl.handle.net/11094/97757 |
| rights | This article is licensed under a Creative Commons Attribution-ShareAlike 4.0 International License. |
| Note | |

Osaka University Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University



OSAKA UNIVERSITY

3. IIIIFとは何か

目次

1. デジタルアーカイブとは
2. IIIFの概要
3. IIIFの枠組みを利用するメリット
4. 大阪大学学術貯蔵庫OUKAに公開されているIIIF画像の紹介

デジタルアーカイブとは

“重要文書や文化資源と
いった、歴史的にも学術的
にも貴重な資料をデジタル
化して長期間公開してい
るウェブサイト”


- 多くの企業・研究機関で公開
- 原本を公開する手間とリスクを回避
- 多くの人々が貴重な資料を認知できる

「ジャパンサーチ」より


JAPAN SEARCH 検索キーワードを入力

検索オプションを閉じる


2,336件見つかりました。 1 / 117 ページ 20件 適合度順 表示スタイル




富嶽三十六景 江戸日本橋
葛飾北斎, Katsushika Hokusai 天保1-天保3年(1830-32)頃, c. 1830-32(Tenpo 1-3)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース
CC0




富嶽三十六景 甲州石班沢
葛飾北斎, Katsushika Hokusai 天保1-天保3年(1830-32)頃, c. 1830-32(Tenpo 1-3)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース
CC0




富嶽三十六景 東都浅草本願寺
葛飾北斎, Katsushika Hokusai 天保1-天保3年(1830-32)頃, c. 1830-32(Tenpo 1-3)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース
CC0




富嶽三十六景 身延川裏不二
葛飾北斎, Katsushika Hokusai 天保1-天保3年(1830-32)頃, c. 1830-32(Tenpo 1-3)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース
CC0




富嶽三十六景 登戸浦
葛飾北斎, Katsushika Hokusai 天保1-天保3年(1830-32)頃, c. 1830-32(Tenpo 1-3)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース




富嶽三十六景 凱風快晴
葛飾北斎, Katsushika Hokusai 天保1-天保3年(1830-32)頃, c. 1830-32(Tenpo 1-3)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース



東海道五拾三次之内 吉原 左富士
歌川広重, Utagawa Hiroshige 天保4-5年(1833-34), 1833-34 (Tenpo 4-5)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース



富嶽三十六景 武陽佃島
葛飾北斎, Katsushika Hokusai 天保1-天保3年(1830-32)頃, c. 1830-32(Tenpo 1-3)
所蔵・所在: 東京富士美術館
つなぎ役: 一般社団法人 全国美術館会議 東京富士美術館収蔵品データベース



利用者目線での問題点

機関によってデジタルコンテンツの利用方法が「不揃い」

- 閲覧する機関ごとに操作を覚える必要がある
- 複雑な操作のために利用者が離れる可能性が高まる



公開者目線での問題点

サイロ化現象

- 各組織が公開している情報が統一されておらず、利用者がうまく連携して活用できない状態に陥ること
 - 操作・公開方式に統一規格がない
 - 公開組織ごとに異なる方式が乱立して利用者の学習・情報共有コストが上昇
- 数年後に閲覧機能自体が技術の進歩で古くなり、改修する必要がでてきた時に、大きな改修コストが技術的にも金銭的にもかかる



日本遺産ポータルサイト「明治公園のサイロ」
<https://japan-heritage.bunka.go.jp/ja/culturalproperties/result/6355/>

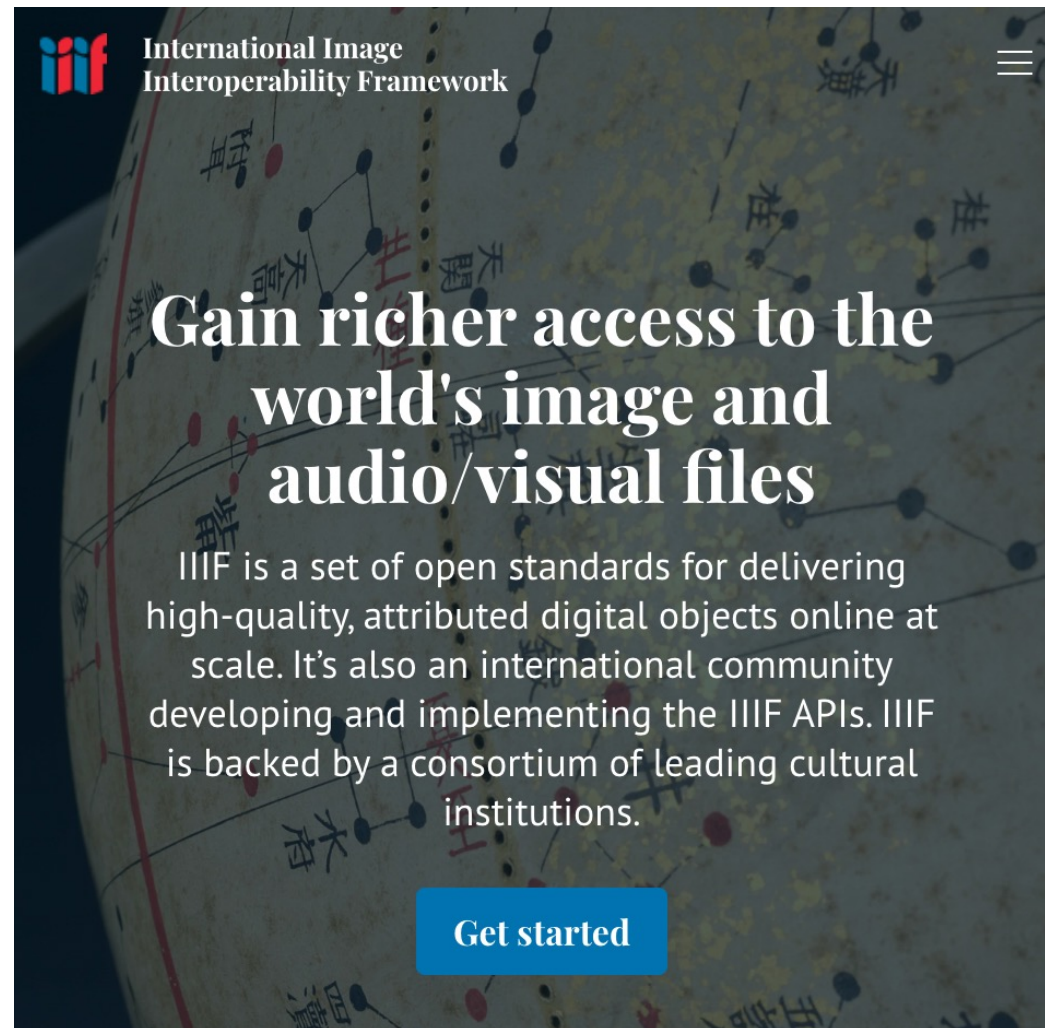
IIIFの概要


IIIF: 「トリプルアイエフ」

<https://iiif.io/>

(International Image Interoperability Frameworkの略)

- インターネット上で画像を共有、表示、注釈するための国際標準(枠組み・取り決め)
- 特に世界中の図書館、博物館、アーカイブ、その他の文化機関によって使用されている
- IIIFの主な目的:異なる機関が保持する画像コレクション間の互換性を高めること
- 世界中のさまざまなコレクションにアクセスし、比較し、研究することが容易に



 International Image Interoperability Framework

Gain richer access to the world's image and audio/visual files

IIIF is a set of open standards for delivering high-quality, attributed digital objects online at scale. It's also an international community developing and implementing the IIIF APIs. IIIF is backed by a consortium of leading cultural institutions.

[Get started](#)

IIIFの概要2

利用者側

- IIIF規格に則ったデジタルアーカイブの操作法を一度学習するだけで、他のIIIF対応デジタルアーカイブの操作も基本的に理解できる
- お好みのビューワ※を選べる
※画像閲覧アプリの意。

公開者側

- IIIF規格に準じたプログラムやシステムを利用することで、閲覧システムを一から開発をする必要がない
- システム開発業者も開発の負担が減るため、コスト削減に繋がる

IIIFの枠組みを利用するメリット

1. 標準化されたアクセス

画像へのアクセス方法が標準化されているため、異なるソース提供元からの画像も同じ方法で閲覧できる

2. 高解像度画像のサポート

大きな画像も効率的に表示でき、詳細な部分もクリアに見ることができる

3. 柔軟な表示機能

画像をズームしたり、回転したり、比較表示したりすることが可能

4. アノテーションと共有

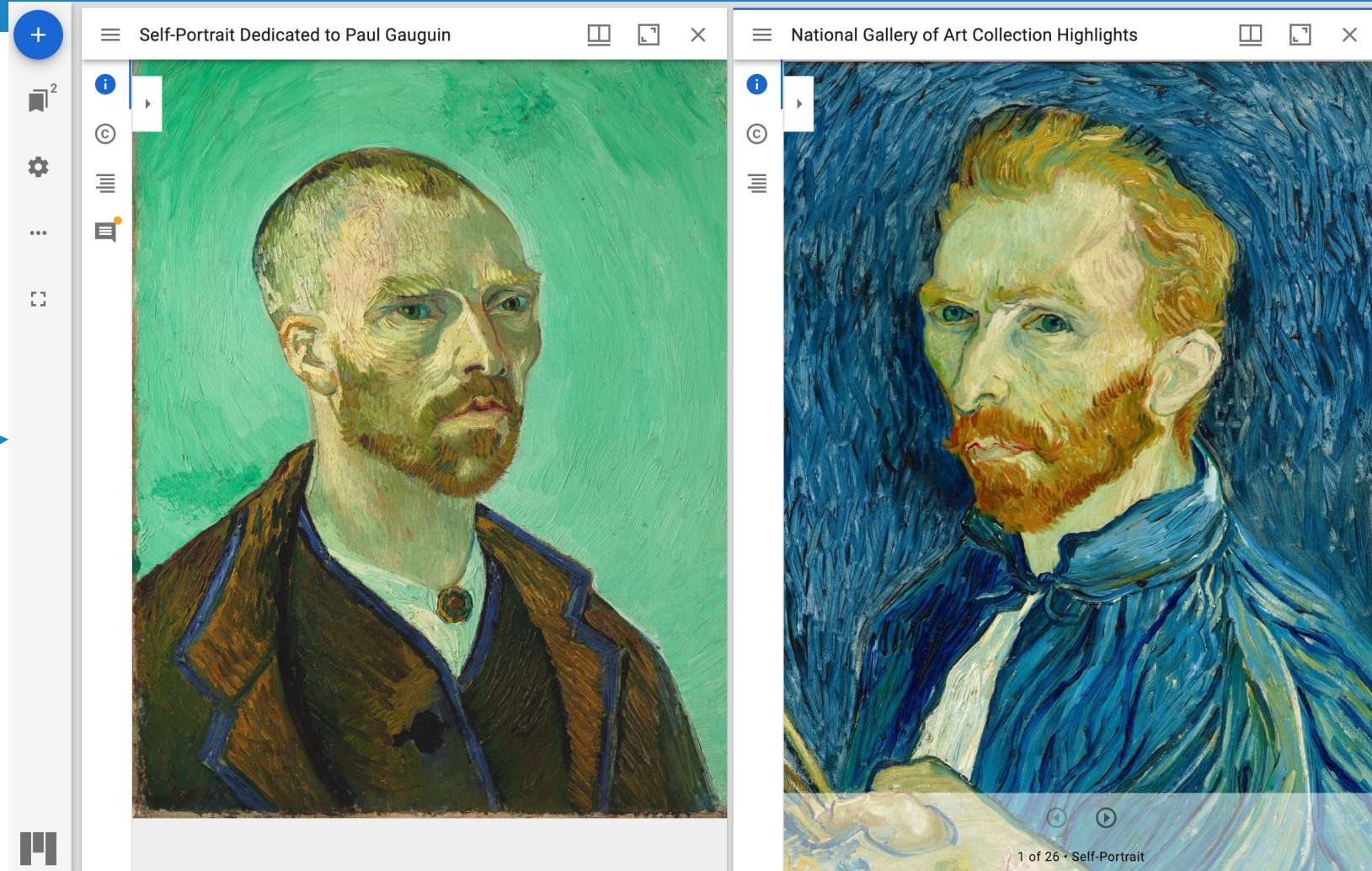
画像に注釈を加え、それを他のユーザーと共有することができる



標準化されたアクセス

※このビューワ自体は「Mirador」と呼ばれるソフトウェアの公式サイト上で表示例を示すために設置されている

Harvard Art Museums
(Massachusetts)



National Gallery of Art
(Washington)

IIIFの枠組みを利用するメリット

1. 標準化されたアクセス

画像へのアクセス方法が標準化されているため、異なるソース提供元からの画像も同じ方法で閲覧できる

2. 高解像度画像のサポート

大きな画像も効率的に表示でき、詳細な部分もクリアに見ることができる

3. 柔軟な表示機能

画像をズームしたり、回転したり、比較表示したりすることが可能

4. アノテーションと共有

画像に注釈を加え、それを他のユーザーと共有することができる



高解像度画像のサポート



東京大学総合図書館「銘細改板江戸大地震出火場所附」



IIIFの枠組みを利用するメリット

1. 標準化されたアクセス
画像へのアクセス方法が標準化されているため、異なるソース提供元からの画像も同じ方法で閲覧できる
2. 高解像度画像のサポート
大きな画像も効率的に表示でき、詳細な部分もクリアに見ることができる
3. **柔軟な表示機能**
画像をズームしたり、回転したり、比較表示したりすることが可能
4. アノテーションと共有
画像に注釈を加え、それを他のユーザーと共有することができる

柔軟な画像表示機能



ビューワによっては
表示オプションあり

IIIFの枠組みを利用するメリット

1. 標準化されたアクセス

画像へのアクセス方法が標準化されているため、異なるソース提供元からの画像も同じ方法で閲覧できる

2. 高解像度画像のサポート

大きな画像も効率的に表示でき、詳細な部分もクリアに見ることができる

3. 柔軟な表示機能

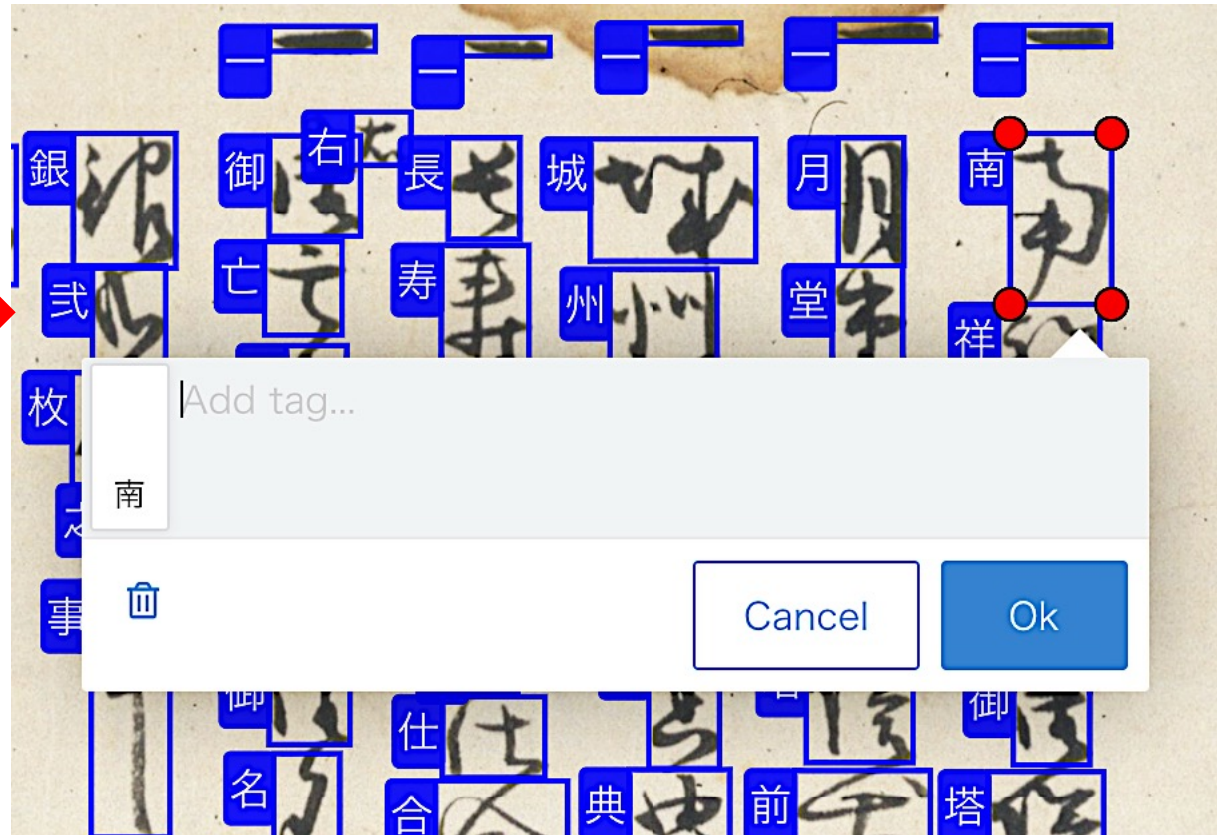
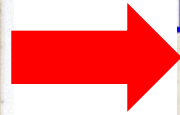
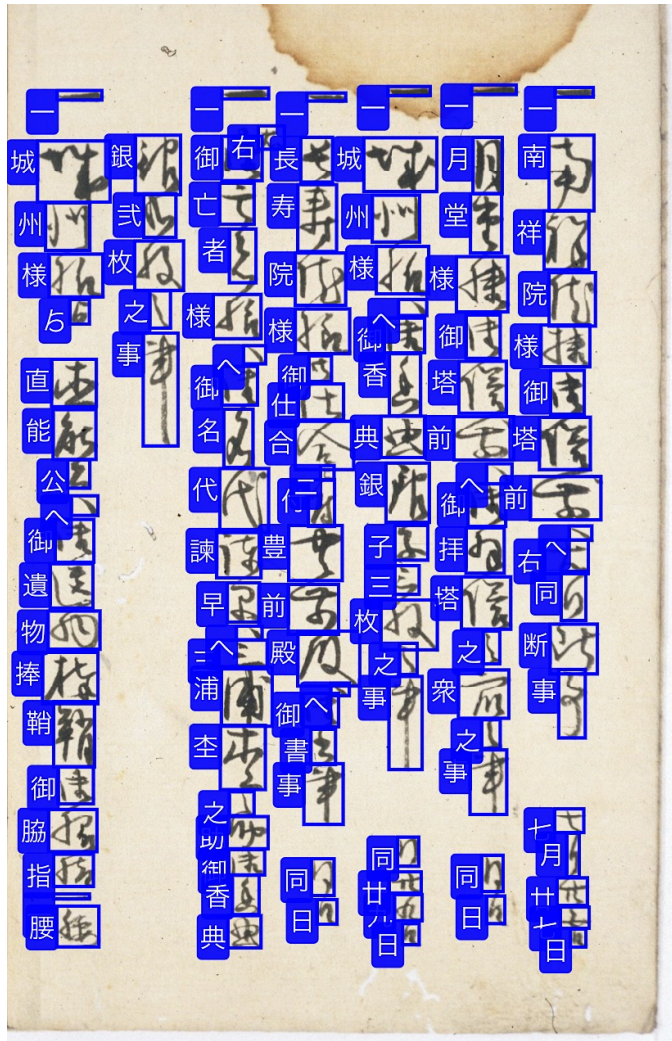
画像をズームしたり、回転したり、比較表示したりすることが可能

4. アノテーションと共有

画像に注釈を加え、それを他のユーザーと共有することができる



アノテーションと共有



くずし字に楷書の文字をあてている例
(Kuzushiji.workより)

OUKAで公開中のIIIF画像

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/repo/ouka/rare/>



OSAKA UNIVERSITY

OUKAで公開中のコレクション



OUKAで公開中のコレクション2

